

Special Interview



Associé 特集として、今年度の勤続表彰者のうち 10 周年の節目を迎えられた職員から、所属や職種、年齢など、同じ法人職員とはいえ、普段ではほとんど関わることがないメンバー 3 名を選び、スペシャル対談を企画しました。もちろん選ばれた 3 名は初対面。また、同じ 10 周年でも「新卒」「転職」と様々です。そんな 3 名の方に、テーマに沿って語ってもらいながら交流を深め、「福祉という仕事」や「法人」について考えていただきました。

自己紹介／この仕事を始めたきっかけ

紙面に載せきれなかった
インタビューの
様子が見られます

Check!



村本 容子 錦林児童館 館長

児童館の前は、14 年間幼稚園に勤務。基本 10 時間労働で仕事漬けの毎日でした。これを 10 年先も続けられるのかと思った時に「子どもたちと関わって、全く違う仕事があるのではないか」と思い転職。児童館を選んだのは、0 歳から 18 歳までの子どもたちに「子育て支援」「中高生」「地域の方」など、トータルして幅広く関われるので面白いかなと思って就職しました。



池口 恵理子 伏見事務所 在宅相談員

以前は「児童養護施設」で、いろいろな事情があるお子さんに対してお母さんのような立場で仕事をしていました。私自身も二人目の子どもが生まれた時、しばらく仕事をやめていましたが、復帰後は協会で育児支援ヘルパーの相談員に。「小さな子どもがいても続けられる」「お休みが取りやすい」というのが、京都福祉サービス協会です仕事をするきっかけになりました。



中田 麻衣子 小川特養 生活相談員

出身が田舎で高齢化が進みお年寄りが多かったのと、両親が共働きで祖父母に育てられたのが大きかった。お年寄りが好きで福祉の道に行きたいと思ったのがきっかけ。大学で京都に来て、社会福祉学科でいろんな分野を学びましたが、高齢者が自分に合っていると思い、協会施設に就職しました。



この仕事をやってよかったと思うとき

池口 「日常的にしている仕事でどなたかに喜んでもらえる」「ありがとうと言われるようなことがあれば、やりがいできて嬉しいな」と思って。私はヘルパーの調整をする仕事をしているので、ご利用者が「ヘルパーを利用して良かった」と言ってくださる時や、ヘルパーさんが退職される時に「ヘルパーをやって良かった」と話され、やりがいを感じながらお仕事をされているのを聞くと良かったなと思います。

中田 ご利用者やご家族の笑顔があったり、感謝の言葉をいただいた時、すごく良かったと思います。最近になって、祖父が病気で老健に入るといった環境の変化に不安がり、母親が「どうしたらいいんやろ」と自分に聞いてくるように。経験を通してアドバイスをしながら、この仕事をしていたから伝えることができると思っています。

村木 児童館は対象が0歳から18歳なので、赤ちゃんの時に来ていた子どもが

中高生になっていく、すごく長い期間の成長過程を見ることができるのが嬉しいことです。また、前職で担任をしていた子が中高生としてボランティアで学校から来て再会したり、大学生がサークルで関わってくれているメンバーの中にも担当していた子が来たり、人との繋がりを感じる人が多い。私だけでなく他の職員もいろんな縁で再会や出会いをしているので、いろんな人との繋がりがあるのだなと感じています。



この仕事をやめようって思ったとき、のりこえられたとき

中田 やめたい時は、めちゃくちゃありました。現場で働いていた時、フロアのリーダーが不在ということがあり、次の立場であった自分の負担が大きくなって、誰に相談したらよいか悩みました。泣きながら帰ったり、親に電話して「もうやめる」と言ったことも。その後リーダーが来られて、「自分だけじゃない」と思えるようになり、相談しやすくなりました。

村木 子どもが好きで始めた仕事ですが、小学生以上の子どもたちとの関わりが初めてだったので、どう関わっていいかわかりませんでした。当時の館長に「小学生は無理です、向いていないかもしれない」と相談し、「こう関わっていた方がいいよ」と小学生との関わり

方を教えてもらって、もうちょっと頑張ってみようかなと思ってここまで来た感じです。

池口 一番しんどいと思ったのは、ヘルパー利用されているお母さんが援助を希望されていても、他のご家族がそれを望んでいなくて、すごく電話で怒ってこられたこと。30分ぐらい大きな声でずっと怒鳴られて、何日も落ち込むと言うことがあり、その時はやめたいと思いました。でも結局は皆に話を聞いてもらって、ご家族との調整や、やり取りをお願いし、周りの方に相談していくうちに、気持ちが晴れていきました。一人ではなかなか乗り越えるのがしんどい時期はありました。



もっとこんなことをしたい！ 法人にしてほしいこと

中田 私は美容が好きです。施設では女性のご利用者も多く、メイクに興味を持たれている方もたくさんおられます。きれいになって生き甲斐を持ってもらう、そんなことを福祉に繋がれたらいいなと思います。今日みたいに日頃会えない部署の人と会ってお話する機会がないので、これを機にもっと作っていただけたら。すごく楽しくて、たいへん勉強になりました。

池口 コロナ禍で、できていないことがすごくあります。ヘルパー研修も集まってなかなか話ができなかったり、実技的なものが難しかったり。交流が途絶えて一人で抱えると、しんどい仕事ではない

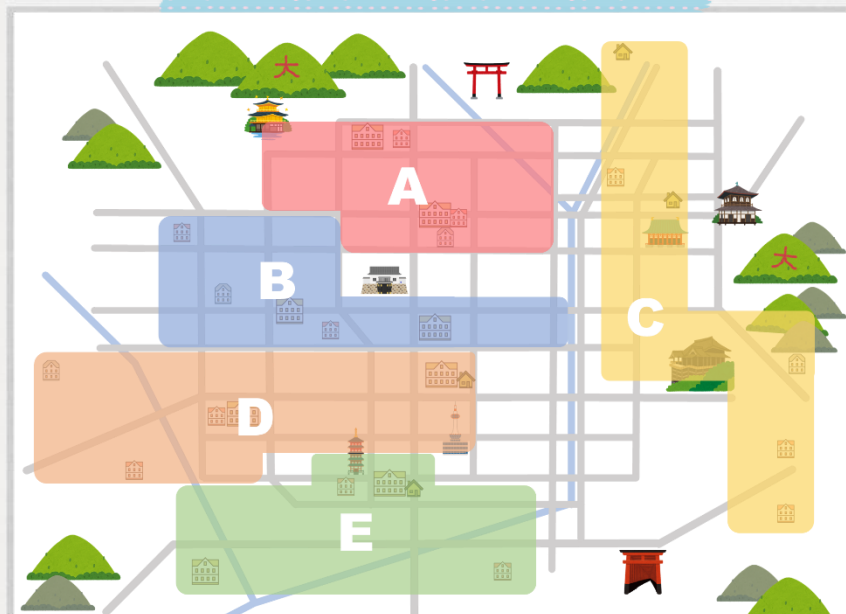
でしょうか。「しんどかったことをのりこえる」にも繋がりますが、人と話すことでスッキリすることもあります。法人にはいろいろな分野があるので、話すことでお互いの良いところを盗んで良くなって欲しいです。

地域との関わりも在宅だと少ないので、法人のお祭りなど楽しいかな。ざっくばらんに話せる機会が持てたらいいなと思います。

村木 児童館にもコロナ禍でなかなか来られない子どもがいて、繋がりが大事な仕事なのに「できないのはどうしたらいいのか?」「その中でできることが何なのか?」と考えます。

4月に館長となり、「こんなことをしたい」と思っていたのが、日々のことで吹っ飛びました。ただ児童館は、先程のメイクが好きだったらそれを活かせるなど、結構自分の得意なことができます。児童館には「編み物クラブ」があるので、長年やりたいと思っていた「Tシャツヤーン（Tシャツの生地を使って編み物の太い糸にしたもの）」でカバンやカゴを、いつか子どもたちと作ってみたいです。先程、言われたお祭りは面白そうですね。いろいろな施設で夏祭りやイベントがあると思うので、違う部署を知れたり、知り合えたりできるのではないのでしょうか。

ブロック制って何？



この4月から導入がされたブロック制。京都福祉サービス協会内、27か所の事業所を5つのエリアに分けています。ブロック内の事業所が連携して事業を行うことで、より地域に根差した事業運営ができることを目指しています。

A Bloc leader 中島慶行

北事務所	佐々木博章所長
小川事務所	木村所長
紫野	河本施設長
小川	中島施設長
おがわ	浦川所長

B Bloc leader 日栄 優

朱雀事務所	大原所長
太秦事務所	石川所長
本能	日栄施設長
西院	谷所長
山ノ内	大上所長

C Bloc leader 舌 洋一

高野事務所	永田所長
山科事務所	舌所長
醍醐事務所	山本所長
錦林児童館	村木館長
明德児童館	西尾館長
みささぎ	高野所長

D Bloc leader 本好則子

西七条	本好施設長	西七条事務所	本好所長
修徳	森施設長	西京事務所	古賀所長
修徳児童館	木戸館長	桂坂	浦川所長

E Bloc leader 安岡英樹

塔南の園	安岡施設長	久我の杜	松本施設長
南事務所	佐々木千里所長	ナイトセンター南	青木所長
伏見事務所	松ノ尾所長	ぱあとなあず南	清水所長
塔南の園児童館	塚本館長		

各ブロックでどんな取組してるの？

まだ始まったばかりなので今は各ブロック内の各事業が抱えている課題、現状を共有しています。まずは情報共有を密に行って関係性を深めています。最近では、ブロック内の施設見学会や、夏祭り等のイベントの共働など、各ブロックの交流は始まっています。また、偶数月に行われる、よこ糸カフェは各ブロックが企画し実施しています。

ブロックを超えた取組はあるの？

地域共生社会推進センターでの活動があげられます。ブロック制によって縦割りの組織とならないように、各ブロックによこ糸を通して役割を担ってもらいます。よこ糸カフェの運営や、まちづくりプロジェクトの活動など多岐にわたります。職員の皆さんが参加したり、新しい取組を提案してくれることを目指しています。

ブロックの分け方理由は？

京都福祉サービス協会の事業所は、京都市内に点在しています。事業連携やまちづくりの観点からできるだけ近い事業所、規模、事業所数も考え、エリアに分けました。

ブロック内での連携や経営の統括、法人内における複合的なサービスの提供などの目的もあります。

ブロック内連携ってことは、異動はブロック内だけ？

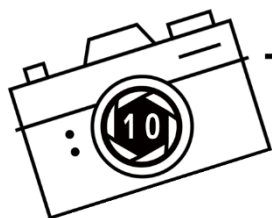
人事異動はブロック内ではなく、法人の事業所全体で行います。これまでは旧部門内での人事異動でしたが、法人全体での異動になると選択肢が広がります。

採用活動も各事業所で行うのではなく、ブロック単位で人員の検討を行い、人材マネジメント室と連携して行います。

施設長がブロック長だと施設にいないの？

ブロック長は、ブロック内事業所の経営や運営の統括、予算編成管理、人事等多くの役割があります。

ブロック制が進んでいくと、ブロック長はブロック内の各事業所を把握するために、事業所を回ることが出てきますので、副施設長と常に連携しながら自施設の運営を行います。



下坂厚の写真日記

記憶とつなぐ

Instagram は QR コードを scan



ATSUSHI_SHIMOSAKA



北区 大徳寺の近くに、藤森寮という築 90 年以上の建物があります。ものづくりのアーティストさんのショップや教室もあり、その 2 階の一室を借りてアトリエ + ギャラリーを準備中です。また遊びに来て下さい！



今年の夏は、特に暑い日が続きます。暑い時には、おいしいかき氷が食べたくなりますね！



6 月から家の近くで畑を借りました。土を耕してタネをまいたり、苗を植えたいろいろな野菜や花を育てています。

まちプロ

共生のまちづくりプロジェクト

私たちの仕事の専門性と地域の皆さんが持つ力を組み合わせた「まちづくり」を！という思いで、2022 年からスタートしたプロジェクト。山科区の西野山団地を舞台にたくさんのエピソードが生まれ始めています。

団地の高齢化率が高まる中で『高齢者にあたたかいものを食べてもらいたい』という自治会長の強い思いに共感し、プロジェクトに参画する関係者も増え、私たちと住民の暮らしの中でのつながりもできてきました。「この地域で最期まで暮らしたい」と思える環境づくりには何が必要か？を共に考えながら、取組は進行中です！



夏祭りの様子



西野山団地 夏祭り TTM

4 回目のたご焼きタウンミーティング (TTM)、今回は夏祭りバージョン。団地ではかつては盛大な夏祭りをしていて、とのことで、ちょっと復活。近所の親子もたくさん来てくれ、住民の方々もたご焼き屋さんに奮闘！学生ボランティアの参加や無印良品さんの販売など、広がりもありました。



泉北ラボ

泉北ラボ・茶山台団地視察

堺市の泉北ニュータウン、茶山台団地での住民が集う場所のヒミツを見に行きました。住民が参画できる工夫と実践の理念を感じながら、「同じだ！」と思えることもたくさんあり…住民の皆さんと、京都市等の担当者と法人職員で先進事例を見て、共に「その先」を考える機会となりました。



茶山台としゃかん



DIY のいえ

